



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所 東・大
 コード番号 6742 URL <http://www.kyosan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 戸子台 努
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,156	△5.6	△3,266	—	△3,175	—	△2,181	—
24年3月期第3四半期	30,899	△17.5	△1,567	—	△1,542	—	△798	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △1,861百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,037百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△34.76	—
24年3月期第3四半期	△12.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	72,431	30,728	42.4
24年3月期	74,350	33,217	44.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 30,728百万円 24年3月期 33,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,000	0.9	1,900	△12.3	1,800	△19.0	1,000	17.6	15.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	62,844,251株	24年3月期	62,844,251株
25年3月期3Q	87,034株	24年3月期	86,304株
25年3月期3Q	62,757,303株	24年3月期3Q	62,759,309株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要に支えられ緩やかな回復を続けてきたものの、世界景気の減速を背景に総じて厳しく不透明な状況で推移しました。

このような事業環境のなかで、当社グループは今年度より3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、海外展開を中心とした成長戦略ならびに競争力強化に向けた取り組みを推進しております。

信号システム事業は、海外案件を含めて受注が大幅に伸長し、売上も前年同期を上回り堅調に推移しましたが、売上の例年にも増した第4四半期集中や海外案件に対する先行開発投資が第3四半期までの利益を押し下げました。

電気機器事業は、半導体や液晶パネル関連市場が引き続き低迷したことにより受注・売上とも大幅に減少し、損益面に大きな影響を与えました。

この結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間の業績は、受注を除いて前年同期を下回る状況となり、受注高51,490百万円(対前年同期2,930百万円増)、売上高29,156百万円(対前年同期1,743百万円減)、営業利益△3,266百万円(対前年同期1,699百万円減)、経常利益△3,175百万円(対前年同期1,632百万円減)、四半期純利益△2,181百万円(対前年同期1,383百万円減)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

[信号システム事業]

鉄道信号システムでは、受注はJR西日本山陽新幹線全線のATC装置更新をはじめ、仙台市交通局地下鉄東西線の信号設備・運行管理装置・ホーム柵や台湾の在来線向け信号設備、延期されていた中国向け電子運動装置用品の一部回復など、前年同期を大きく上回りました。また、売上も新ATC・新ATS装置などを中心に前年同期を上回り堅調に推移しました。

この結果、受注高46,780百万円、売上高25,764百万円となりました。

[電気機器事業]

半導体応用機器では、主力の産業機器用電源装置が液晶パネル製造装置用の落ち込みに加え、半導体製造装置用も市況回復の兆しが見えず極めて低調に推移しました。また、通信設備用電源装置も低水準にとどまり、受注・売上ともに前年同期を大きく下回りました。

この結果、受注高4,710百万円、売上高3,392百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産、負債および純資産の状況]

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,919百万円減少し、72,431百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は、たな卸資産が8,423百万円増加し、受取手形及び売掛金が11,102百万円減少しました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が2,122百万円、未払法人税等が954百万円減少しました。

純資産の部は、利益剰余金が2,809百万円減少しました。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,609百万円減少し1,844百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,491百万円のマイナスとなりました。これは売上債権が11,106百万円減少したものの、税金等調整前四半期純損失が3,325百万円となっていることに加え、たな卸資産が8,406百万円増加し、仕入債務が2,136百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、621百万円のマイナスとなりました。これは有形固定資産の取得により458百万円支出したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,495百万円のプラスとなりました。これは短期借入金が5,130百万円増加し、長期借入金が2,913百万円減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年9月25日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失にあたる影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,453	1,907
受取手形及び売掛金	27,648	16,546
製品	3,876	3,743
半製品	3,050	2,917
仕掛品	12,813	21,445
原材料及び貯蔵品	234	292
繰延税金資産	1,476	2,756
その他	327	537
貸倒引当金	△52	△49
流動資産合計	52,828	50,097
固定資産		
有形固定資産	9,932	10,584
無形固定資産	845	855
投資その他の資産		
投資有価証券	8,465	8,914
繰延税金資産	1,099	933
その他	1,210	1,080
貸倒引当金	△31	△33
投資その他の資産合計	10,744	10,894
固定資産合計	21,522	22,334
資産合計	74,350	72,431

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,368	11,245
短期借入金	5,500	10,630
1年内返済予定の長期借入金	5,227	1,227
未払法人税等	1,075	120
役員賞与引当金	74	30
受注損失引当金	214	638
環境対策引当金	122	10
その他	5,805	7,112
流動負債合計	31,388	31,015
固定負債		
長期借入金	4,750	5,837
長期末払金	543	497
退職給付引当金	3,973	3,983
資産除去債務	119	120
環境対策引当金	22	22
その他	336	227
固定負債合計	9,744	10,687
負債合計	41,132	41,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	21,473	18,663
自己株式	△28	△28
株主資本合計	32,340	29,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,008	1,305
為替換算調整勘定	△130	△107
その他の包括利益累計額合計	877	1,197
純資産合計	33,217	30,728
負債純資産合計	74,350	72,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	30,899	29,156
売上原価	25,926	25,805
売上総利益	4,972	3,351
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,705	1,785
賞与	583	509
役員賞与引当金繰入額	67	30
退職給付費用	205	167
減価償却費	139	140
荷造及び発送費	634	637
貸倒引当金繰入額	3	△3
その他	3,200	3,349
販売費及び一般管理費合計	6,540	6,617
営業損失(△)	△1,567	△3,266
営業外収益		
受取配当金	131	123
受取保険金	44	102
受取補償金	1	18
その他	48	87
営業外収益合計	225	332
営業外費用		
支払利息	114	117
資金調達費用	48	117
その他	37	5
営業外費用合計	201	241
経常損失(△)	△1,542	△3,175
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	1,140	—
特別利益合計	1,140	2
特別損失		
固定資産除売却損	86	114
投資有価証券評価損	6	34
ゴルフ会員権評価損	—	3
その他	1	—
特別損失合計	94	152
税金等調整前四半期純損失(△)	△497	△3,325
法人税等	301	△1,144
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△798	△2,181
四半期純損失(△)	△798	△2,181

四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△798	△2,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△215	297
為替換算調整勘定	△23	22
その他の包括利益合計	△239	320
四半期包括利益	△1,037	△1,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,037	△1,861
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△497	△3,325
減価償却費	1,346	1,188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25	10
受取利息及び受取配当金	△131	△124
支払利息	114	117
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,140	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,053	11,106
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,743	△8,406
仕入債務の増減額(△は減少)	△723	△2,136
その他	△1,214	207
小計	△1,907	△1,362
利息及び配当金の受取額	131	124
利息の支払額	△125	△138
法人税等の支払額	△1,689	△1,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,591	△2,491
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△34	△57
定期預金の払戻による収入	37	—
投資有価証券の取得による支出	△15	△20
投資有価証券の売却による収入	1,150	—
有形固定資産の取得による支出	△841	△458
無形固定資産の取得による支出	△73	△206
その他	45	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	268	△621
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,556	5,130
長期借入れによる収入	1,500	2,000
長期借入金の返済による支出	△809	△4,913
配当金の支払額	△627	△627
その他	△78	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,541	1,495
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△785	△1,609
現金及び現金同等物の期首残高	3,065	3,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,279	1,844

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	24,338	6,561	30,899	—	30,899
セグメント間の内部 売上高または振替高	2	1,201	1,204	△1,204	—
計	24,341	7,762	32,104	△1,204	30,899
セグメント利益 または損失(△)	108	421	529	△2,096	△1,567

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,096百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	3,107	206	3,313
II 連結売上高(百万円)	—	—	30,899
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	10.0%	0.7%	10.7%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・中国、韓国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	25,764	3,392	29,156	—	29,156
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	1,158	1,158	△1,158	—
計	25,764	4,550	30,315	△1,158	29,156
セグメント損失(△)	△468	△666	△1,135	△2,131	△3,266

(注)1 セグメント損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用2,131百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	2,031	181	2,213
II 連結売上高(百万円)	—	—	29,156
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.0%	0.6%	7.6%

(注)1 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1)アジア・・・・・・中国、台湾等

(2)その他・・・・・・アメリカ、スイス、ブラジル等

2 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7)重要な後発事象

該当事項はありません。